

日新

国家試験の合格率 100%を達成

高梁日新高校では、美容コースに入学と同時に専門学校倉敷ビューティーカレッジ(通信課程)にも入学し、高校3年時に美容師国家試験を受験することができます。令和3年度には25人が受験し、合格率100%を達成しました。他にも、ネイル検定やサービス接客検定も受験することができ、卒業後に美容の分野ですぐ活躍できるよう生徒たちは日々スキルを磨いています。



授業では専門学校や外部講師の先生が指導し、実践的なスキルを身に付ける



講座ではクラスメートと一緒に自分の長所を発見するためのグループワークなどを行っている

宇治

社会で必要なスキルを学ぶ特別講座

宇治高校では、生徒たちが社会人として必要なスキルを身に付けるため、基本的な読み・書き・計算の学び直しをはじめ、コミュニケーション能力やビジネスマナーなどを学習する「ソーシャルスキル講座」を行っています。講座では、傾聴力やレジリエンス(折れない心や困難に打ち勝つ力)を高めるトレーニングなども受講でき、知識面と精神面で高校卒業後に社会人として羽ばたく備えをしています。

松山

生徒によるオリジナルコーヒーを開発

松山高校では、生徒たちが独自のコーヒー「MATSU-KOFFEE」の開発・販売を行っています。地域の人々に喜んでもらえるおいしいコーヒーを目指して、コーヒー豆の仕入れや焙煎、パッケージのデザインなどを生徒たちが主体となり、市内のマルシェなどで販売しています。他にも、市内のカフェでお茶について学ぶなど、新しい商品の開発も進めています。



市内各地で行われるマルシェに参加し、生徒が自ら店頭立って自慢のコーヒーを販売

イロトリドリな高校生活

市内5つの高校にはそれぞれの特徴があり、各校では特色を生かした学校づくりを進めています。ここでは、各校がイチオシする学校の特徴や活動など、際立った取り組みを紹介します。

高梁

県内屈指のICTを活用した教育

高梁高校では、令和3年度の入学生から生徒1人につき1台情報端末を配備し、ICT(情報通信技術)を活用した協働的な学習や、個に応じた学習に取り組んでいます。例えば、個々の考えや作品を共有して意見交換や相互評価をしたり、配信された授業動画を繰り返し視聴することで理解が曖昧だったところを復習したりするなどの活用を県内でも先駆的に行っています。こうした取り組みが認められ、日本教育工学会により、高校では中四国地方初の「学校情報化優良校」に認定されています。



ICTを活用した授業の様子。情報端末で互いの意見を共有しながら、授業内容をより深く理解することができる

城南

高校生がカフェ運営「Jona Cafe」

高梁城南高校では、3学科の生徒たちが協同し、令和3年4月にポルカ天満屋ハッピータウンにカフェをオープンしました。電気科が店内のペンダントライトの製作や電気配線の工事、デザイン科が内装デザインや食器・家具の製作、環境科学科が高梁の特産品を生かしたメニュー開発を担当するなど、各科の専門性を生かして運営しています。ジョナカフェではドライブキー作りやキーホルダー作りなど、生徒たちが各学科で学んでいることを応用するワークショップも開催しています。



カフェには高梁の特産品を使用したメニューがずらり